

近代文庫

本学の創立者で初代館長の人見圓吉（筆名東明）が戦後、近代に関する文献はもらさず収集したいと発意し、自ら古書店を巡り、資料収集に着手した。

昭和31（1956）年刊行開始の『近代文学研究叢書』が昭和33（1958）年3月に菊池寛賞を受賞し、その賞金を基金として同年10月に近代文庫を創設した。

昭和55（1980）年に図書館を増築し、近代文庫は4・5階に移転した。平成12（2000）年に80年館（現8号館）ができた際、図書館内に近代文庫を移設した。

明治初期以降の近代詩、近代文学全般及び思想、学術、文化等の関連領域の図書約7万冊、雑誌約5千タイトル、新聞約100タイトルを所蔵している。この他に詩人・作家・研究者の自筆原稿、草稿、歌稿、書簡、肉声収録テープ、遺愛品なども収蔵している。